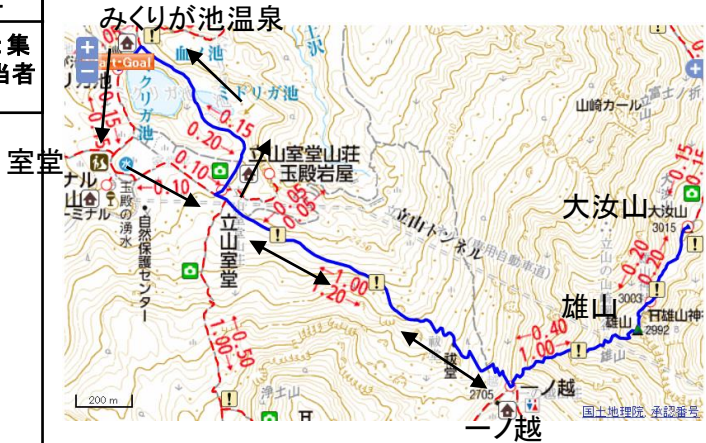


10 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	大矢	参加 メンバー	CL 大矢(単独)
		報告日	10/22		
山域	立山	山行日	2021.10.20(水)-10.22(金)		
山名	大汝山				
山行目的	1989年10月の立山中高年大量遭難事故の検証		コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)



25万分の1地図

10/20 雨
大雪のため室堂までのバスが運行停止。立山ケーブル駅付近に宿泊

10/21 晴れ
9:10 室堂 発 -8℃
10:05 休憩
11:10 一ノ越 着
空荷で50mぐらい登る雪の状態が悪いため撤退を決定
11:40 一ノ越 発
12:45 室堂
13:30 みくりが池温泉

10/22 晴れ
7:30 みくりが池温泉 発
7:45 室堂 -2℃

〈山行報告〉

【10/20】計画ではみくりが池温泉に泊まる予定だったが、美女平から室堂までの立山高原バスが大雪でストップしたため、立山駅付近に宿を取り直して停滞。立山駅では冷たい雨が降り続く。せっかくなので近くにある立山カルデラ砂防博物館を見学。立山の砂防について初めて知った。すぐ近くに国立登山研修所もあった。

【10/21】予想より早く晴れた。立山駅でFacebook友人の女性のHさん(かなりの強者)と待ち合わせ。977mの美女平のバス駅には雪はないが、称名滝が見える滝見台からは雪道となる。8時の室堂は晴れ、-8℃。室堂は19日の積雪無しから、一気に真冬並みの冬景色に変わっていた。これがこの時期の立山の怖さ。後でみくりが池温泉や室堂の人に聞いたら、10月でも大雪はよくあるとのこと。豹変する気象状況が1989年の遭難の原因であろう。室堂で山行計画書を提出したら、山岳警備隊の人に雄山の下りは要注意とアドバイスを受けた。室堂から少し行ったところで雷鳥沢に行くHさんと別れて、私は一ノ越に向かう。積雪は吹き溜まりの多いところで80cm、少ないところで10~15cm。トレースはしっかりと付いている。一ノ越に着くと素晴らしい眺望が開けた。槍ヶ岳がバッチリ。その右には笠ヶ岳。雄山の稜線を空荷で途中まで登ってみたが、やはり岩の上に降ったばかりの雪が乗っていて、アイゼンが効きにくく下りが危ない。雪の状態が悪いのでここで撤退を決める。みくりが池温泉の温泉に入って、登れなかった大汝山を眺めながらビールを片手に一人反省会。

【10/22】みくりが池温泉から周辺を散策して、朝日を受けて輝く剣岳と奥大日岳、10/20に噴火した阿蘇山を彷彿させる地獄谷の噴気を見てから、みくりが池温泉を後にして室堂に下山。

〈リーダー所見〉

10月でもたった2日間で、多いところで80cmも積もる豪雪地帯の怖さを体感できた。積雪状態から一ノ越で撤退した判断は妥当だったと思う。”全然問題なし”と言って登ってきた人もいたが、かなりの技術の持ち主だったようだ。甲斐駒ヶ岳七丈小屋のオーナーかつ登山家の花谷泰弘さんと21日に情報交換したが、この時期の積雪は対処が一番難しいとのこと。

確認
(リーダー)



作成
(報告者)



10月19日の室堂(富山県警察山岳警備隊Twitter)



立山駅で一緒になったFacebook友人のHさん
登攀に向けた屈曲ピッケル持参



雄山付近に昇る朝日がみくりが池に映る



10月21日の室堂(富山県警察山岳警備隊Twitter)



一ノ越で撤退。後ろには槍ヶ岳がバッチリ



槍ヶ岳



朝日を受けて輝く剣岳



剣岳

